

皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
 ◇例会場 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
 ◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp



イマジン
ロータリー

IMAGINE ROTARY

第1593回例会 令和4年9月15日(木)

【会長の時間】

畝 徳治

皆さん、こんにちは。今日は金井ガバナー補佐をお迎えしての例会になります。

月の真ん中の例会の時にはウイルスの話をさせて頂いております。NHKの放送のテキストで20数年前の物になりますが、読み返してみても新しく見える。振り返るような内容なので、抜粋してお話しています。



ウイルスが原因の病気の中では、古く古代エジプトの時代にすでに、天然痘、小児マヒといったものが知られていました。しかし、ウイルスという小さな微生物がこうした病気を引き起こすということは、20世紀になって初めてわかったことで、そういう意味では、ウイルスはまだ非常に新しい研究課題ということが出来ます。

天然痘は、昔は非常に恐れられた病気でした。藤原道綱母の蜻蛉日記（成立は天延2年（974年）前後と推定される）には、息子の道綱が天然痘にかかって九死に一生を得た、ということが書かれています。また、ヨーロッパの文学にも疫病としての天然痘が描かれており、いかにこの病気が社会的に恐れられていたかわかります。

しかし、1980年にWHOから「天然痘は撲滅した」という宣言が出され、これだけ恐れられたこの病気も、もはや世界中からなくなってしまったと考えていいかと思えます。これは予防接種というものが非常に大きな役割を果たした結果なのです。現在も、ウイルスが原因の病気の場合は、予防接種をすることによって病気を予防するという考えがありますが、逆に予防接種によってその病気にかかり、不幸にして障害を持つというような副作用の問題も出てきています。しかしながら予防接種によって、小児マヒや天然痘の撲滅のような人類全体にとって非常に素晴らしい成果が得られているわけですから、予防接種による副作用をできるだけ少なくする努力とともに、ガンやエイズの予防接種をつくる方向にも進みたいとウイルスの研究者たちは考えています。

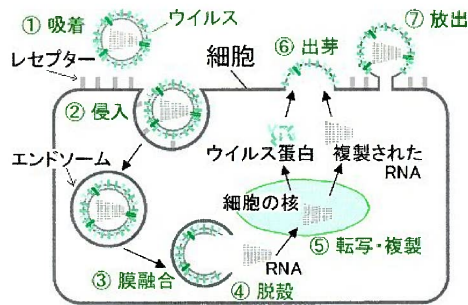
病気になるとどうなるか図を見て頂きたいと思います。ウイルスの増殖過程は、『吸着→侵入→膜融合→脱殻→転写・複製→出芽→放出』と

なります。(図)

インフルエンザウイルスに乗っ取られた細胞は、ウイルスをどんどん増殖させて、最初は1個だったウイルスが8時間後には100個に増え、16時間で1万個を越え、24時間後に100万個まで増殖します。(大阪市東淀川区医師会)

ウイルスが吸着するためには、細胞膜上にそのウイルスの外殻と親和性のある分子（レセプター受容体）が存在する必要があります。受容体のない細胞はそのウイルスにとってはツツルの表面をもった壁のようなものです。

ウイルスが侵入して細胞外に放出されるまでを”暗黒期”とってウイルスが存在しないかの如く見える時期です。この時期にウイルスを検出することは、まず出来ません。この暗黒期の時間はウイルスや宿主細胞の種類にもよりますが数時間から10数時間です。(神奈川県衛生研究所)



【幹事報告】

山田 利明



1. 地区事務所より
 - ①地区大会ご講演の件
 - ②地区大会オンライン ZOOM について
 - ③会員増強とIT推進への協力をお願い
2. 米山記念奨学会よりハイライトよねやま
3. 棕神社例大祭について

ガバナー補佐卓話



RI第2570地区

第4グループガバナー補佐

金井 福則様

昨年度の会長、幹事さんには大変お世話になりました。第4グループはガバナー補佐の輩出がクラブ創立順になっております。今年度は本庄という事で、ある人に補佐を受けて頂きました。しかしその方が女性部会の大会のようなものがある関係で、補佐が難しいという事で急遽私になりました。4月3日に地区研修協議会がありまして、清水地区幹事から各クラブの公式訪問の日程表を出すよう以来されました。例年ではPETSの時に名刺交換をしてからお願いするのが普通ではないんですかと言ったら、気分を悪くしたのか、村田ガバナーに話がいき、次の日に村田ガバナーから電話がきて、30分くらい「ああでもない、こうでもない」という事で「好きにして下さい。任せます」と電話を切りました。その後、本人からの連絡があり、「ガバナーを辞めてもらえますか」と言われましたので「はい、喜んで」と辞めました。一緒にいるとおかしくなると思い、辞めました。その後、高丹年度のIMがあり、急遽会長、幹事会が開催されました。その場で村田明美さん、福島県の方がガバナー補佐に決まっていたようですが、参加した会長、幹事さんからやってももらえないかという事で、再度補佐を受けたわけです。私としてはどういう気持ちでやっていいのかわからない中で今日を迎えています。補佐を受けたからには全力でやりたいと思います。

地区大会の件ですが、ガバナー補佐には何の依頼もきていません。地区大会はRI会長代理をお呼びして、2日間やらなければいけないという基準がありますが、いきなり9月22日に帝国ホテルでやるという事が出ました。1日の申請であったために日本事務局から時間が足りないで、RI会長代理の派遣は出来ませんという事になりました。村田ガバナーは2770地区の中村さんにRI会長代理派遣依頼を出しました。申請を出した状況で、時間がなかったためにクラブ、同期のガバナーの方達にRI会長代理が中村氏であると案内を出していたのですが、それが中止になった連絡も出ていない状

況です。多くの会長、幹事さんはRI会長、幹事さんはRI会長代理が来ると考えていると思います。中村さんがRI会長代理を予定していた関係で、代理ではないけれども講演という形で講演をするという事になったようです。それだけではという事で、田中作治さんにも来て頂くようです。

自己紹介をさせていただきます。生年月日が1960年2月3日です。62才になります。仕事は映像の仕事をしております。ビデオで会社のPRとか記録を作る仕事です。学生時代に会社をつくりましたが、ある車のメーカーの人事の人に会って、仕事をやるのだったら営業の勉強をしたらいよいよという事で、マツダの車は売れないので、ここで営業をすると勉強になるよと言われて、会社をやりながら営業マンをやっていたと言われて、会社とマツダの営業をやりました。中途半端ではと思い、ある程度の台数を売りました。1年半くらいしたところ、お前の下に部下を付けると。マツダは年間500台売れば、営業所の所長になれる基準があるようです。2名の部下を付けて、売り上げの台数を達成すれば、27才で所長になれるからとと言われてました。辞められなくなると考え、2年で辞めて現在の仕事をしております。

1960年2月3日生まれと話しましたが、洪沢栄一は1840年2月13日生まれです。120年と10日違いです。だから何だと言われますと、何でもないので、洪沢栄一が今生きているとすぐ分かるという気持ちでいます。

ガバナー補佐の役目としての卓話をさせていただきます。RI会長ジュニア・ジョーンズさんは、初めての女性のRI会長です。出身はカナダで、テーマはイマジンロータリーと掲げています。想像力、夢と希望があれば生きていけるという事かなと思います。チャップリンの映画にライムライトがあります。一人の女性がバレリーナを目指しますが、足が麻痺して踊れなくなり、自殺しようと思った時にチャップリンが「人間は少々のお金と勇気と想像力があれば生きていけるんだよ」と。その後、女性は夢と希望を持って、一流のバレリーナになるという話です。それだけイマジンという事は大事なんだと今年度RI会長は考え、テーマとして掲げています。それに関しまして、ガバナー公式訪問時に村田ガバナーより詳しくお話があると思います。

今年度村田ガバナーの地区テーマは「地域と世界でつなげる力を磨き、奉仕を実践しよう」と掲げております。これについても公式訪問の時に本人からお話が聞けると思います。

次に私の方針ですが、2022～23年度村田ガバナーは「地域と世界でつなげる力を磨き、奉仕を実践しよう」とスローガンに掲げました。そのテーマに沿って、第4グループのテーマは「奉仕と親睦を深めよう」とさせていただきます。ロータリーの中核的価値観、親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ。その奉仕と親睦を掘り下げてみたいと思います。私は奉仕と親睦を車に例えると、車の両輪だと捉えております。一人で奉仕するよりも大勢で奉仕活動をした方がより大きな奉仕活動が出来ると思います。

一滴の水も集まれば、川になるように、そのためにより一層の強力な会員同士の親睦が必要であるかと思えます。今年度は第4グループ全体が各クラブ同士のより一層の親睦を深め、第4グループがより大きな一枚岩になるように心がけていきたいと思えます。そして各クラブがより一層の大きな奉仕活動につながるよう支援していきたいと考えております。

親睦を中心にしたと思っております。そういう意味で2月18日のIMでは親睦を目的とした形でやらせて頂きます。会場は秩父のホテル美やまさんでお世話になる事になっております。大宴会をやりたいと思っております。

なぜ親睦が大事かと言うと、私はロータリーの入って15年になりますが、奉仕をしようという気持ちは全くありませんでした。入会してからロータリーってつまらない。いつ辞めようかと思っていた中で、知り合いが出来、地区へ出たりして、いろいろな事をやる中で、ロータリーも面白いなど。そこから奉仕は大事だなと思うようになりました。

ロータリーを創ったポールハリスも4人で始めました。親睦を目的としてやっている中で、親睦だけでは意味がないという事で、奉仕活動が始まったわけです。最初から奉仕をしたいからロータリーに入りたいという人はいないと思えますし、いたらおかしいのではないかと。若い人で奉仕をする時間があるならば、仕事を一生懸命やった方が地域のためになりますし、人生にとっても役立つのではないかと。40、50、60になって奉仕をした方が自然だと思ひ、その思いで今年度は奉仕と親睦を深めようという事で、まず親睦が一番大事だと考えております。

次にロータリーの良い所を私の価値観でお話させて頂きます。ロータリーに入って15年になります。その前にいろいろな団体にも入っておりました。他の団体とロータリーの違いは何かと言った時にメーキャップの制度があるという事です。どこの例会にも出席出来ます。

東京ロータリークラブにホリエモンが入会しようと思ったけれども却下されました。お金を数百億持っても入会出来ない。高潔性がないからです。しかし小さなロータリークラブであっても入会すれば、東京ロータリークラブにメーキャップ出来ます。何回か東京ロータリークラブにメーキャップしていますが、いろんな意味で最高です。周りには、見た事のある人がたくさんいますし、得る物があるなどと思えます。

東京ロータリークラブでは各テーブルにリーダーがいて、その日の例会を仕切りますが、5年前にメーキャップした時に私の隣にいたのが、JTBの会長でした。何かあったら遠慮なく話をしてください。その後クラブの移動例会で金沢、北海道に行った時にJTBの添乗員と一緒に行きましたが、社員の方は会った事も話した事もないと言っていました。それがロータリーに入る事により話が出来るという事です。

昨年職業奉仕委員長をやりまして、JTB会長の田川さんに職業奉仕のセミナーに来て頂き、講演して頂きました。その時に熊谷ロータリークラブにJTBの支店長が入っておりますが、

「金井さん、会わせてください」という事で、控え室で会ったのですが、正座で話をしていました。すごい人なんだなど。帰る時にも何かあったら遠慮なく言ってくださいと言ってくださいました。ロータリーに入る事によって「やあ」と呼び合えるのが、ロータリーのすごさかなと思えます。メーキャップは非常に良い事だと思います。

なぜメーキャップ制度が出来たかというのと、昔は連続3回休んだら退会でした。必ずどこかでメーキャップに行かなくては行けないと。厳しかったから逆に魅力があったという事が出来ます。現在は出席規定免除も1年になり、制度がぐずぐずになっているかなと思えます。ロータリーをもっと強くするためには、もう一度見直す事も必要かなと思えます。

一昨年相原年度の映像を作成する上で勉強したのですが、お父さんは画家でありパストガバナーです。亡くなった時に1冊の本がありました。著名人のコメントが多数ある中で、今泉パストガバナーがロータリーに入会した頃の相原さんに対するコメントを読んだ時にロータリーに入る事がステイタスではなく、高潔な皆さんの仲間入りが出来た事がステイタスだと書いていました。我々もいかに高潔性を高める事が会員数を増やせるのではないかと。ロータリアンの仲間入り出来る事がステイタスだとしていかなければ会員は増えないのではないかとと思ひますので、これから強く言っていきたいと思ひます。皆さんで楽しく、強いロータリーにしたいと思ひています。

メーキャップに行く時に動物園に行った時の感覚で見ます。この人はこういう職業だと。こういう話をするのか。こういう感覚でいるんだ。動物園で動物見るよりも人間を見た方がおもしろいと思ひます。動物と話が出来ないので、考えている事は分かりませんが、人間は分からない事は聞けば分かります。動物園よりいろいろなクラブに行って、疑問を聞けば分かりますので、そういう意味で動物園感覚でメーキャップしてもらいのがいいかなと思ひます。

私は洪沢栄一にあこがれて、ロータリーの目指すものは洪沢栄一翁の生き方に行き着くのかなと。最も多く奉仕する者、もっとも多く報われると。洪沢栄一が実践した事かなと思ひます。会社を500創設したのは有名ですが、慈善事業は600からつくっています。生涯を通して常にお金がなかったという事です。創立した会社も70才になった時にはすべて後輩に譲るという事で、大変尊敬しています。

信用という事で、洪沢栄一は銀行をつくりましたが、苦勞しました。お金を預けたら戻ってこないのではないかと考える人が多かったようですが、社会のためであり、得た富の分配、金利が付くんだと説明し続けて、洪沢栄一が言っているのなら間違いはないだろうと理解してもらい銀行が始まります。銀行をつくれれば何でも出来る。お金が集まれば何でも出来ると。信用が大事だと洪沢栄一は言っています。

皆さんお金を借りる時には保証人、担保を付けてくれと言われますが、本当に信用があれば、保証人、担保を付けてくれと言われるのは、そ

れだけ自分は信用がないという事です。

信用を付ける方法として4つのテストを実践する事が信用を高める事かなと思います。この4つのテストを日常生活の事と勘違いしている方がいます。職業的な事を言っているのであり、真実かどうかを夫婦間で真実を言ったら、問題が出る家庭が多くあると思います。みんなに公平かは共産主義でなければ無理かなと思いますし、好意と友情を深めるかでは、町を歩いている人と好意と友情を深めても何にもならない。新しい仕事を紹介してもらおうとかの意味で好意と友情を深めるという事が大事だと言っています。みんなのためになるかどうか。キリスト以外は無理です。みんなのために生きていたら自分はなくなってしまいます。

1929年の世界恐慌の時、クラブ・アルミニウム社が行き詰まった時にハーバートテーラーにどうにかして欲しいと依頼した時、どうしたら会社が存続出来るか考えて挙げたのが24の項目でした。24の項目から最も必要とされるものだけを残したのが4つのテストです。この4つだけを実践すれば、どんな仕事でも存続出来るという事でした。

真実かどうか。商売をする中で契約通りやっているか。納期、支払いを約束通りやっているか。物に嘘、偽りは無いかという事です。

みんなに公平か。富の分配を言っています。自分だけが儲けたり、取引先だけが儲けるのではなく、取引先も社員も儲かるよう富の分配を公平にすれば、うまくいくと言っています。

ヤオコーの50周年の時に会長の持っている株が400億円くらいありました。半分の200億円を全社員に分けました。勤務年数によりパートに人までに分配しました。そうしたところ、パートのおばさん達が自分達が頑張れば、配当が出るんだという事で、店の雰囲気が変わりました。当時の売り上げが2千億円が現在は4千7百億くらいになり、株価も上がりました。公平にすれば、富は寄って来るといふ事だと思えます。90年前の話が現在にも通じています。

好意と友情を深めるか。これは一般の人と好意と友情を深めても何も生まれません。仕事の仲間に好意と友情を広げる事によって、新しい取引先やお客さんを紹介して頂けるという事だと思えます。

みんなのためになるかどうかですが、自分のためではなく、世の中みんなのためになるかどうかを考える。分かり安く言うと、渋沢栄一の生き方で分かると思えます。

渋沢栄一は水も溜まれば腐るようにお金も貯まれば腐るんだと言っています。金は流れていけばいいんだと言っています。当時9財閥ありましたが、渋沢栄一だけが財閥をつくりませんでした。なぜかと言うと、財閥にすると1ヶ所にだけお金が集まるからと。それが良くないといふ事ではありません。戦後に財閥は全部没収されました。三菱は預金高が31億円、三井は29億円でしたが、渋沢栄一のつくった会社は資本が一つではなかったために没収を免れました。渋沢一族が持っていたお金は1千万円でした。昭和20年の1千万は今では10億以上あると思えますが、渋沢栄一のつくった会社は没

収されなかったために今日の大手の日本企業の108社は渋沢栄一が作った会社です。

みんなのためにやれば、社会が良くなると。渋沢栄一が言うように超我の奉仕、みんなのために生きる事がロータリーの生きる道につながるのかなと思っています。

4つのテストは渋沢栄一が「論語と算盤」で言っています。会社が大きくなればなるほど、倫理観を大きく持たないとまっすぐ走らないというのが論語と算盤です。4つのテストは論語と算盤と同じ事を言っています。野球の大谷が高校生の時に愛読したのが「論語と算盤」アンドリューカーネギーの「富の福音」でした。カーネギーは金の使い方について能力のない人間がお金を持つとこんな不幸な事はないと言っています。

生活保護を一回与えると、働く意欲がなくなると。お金を持っている人はお金の寄付を簡単にしてはいけないと。生活保護を受けた人の周りの人間は仕事をしなくてお金がもらえらると思うと働かない人が増える。腐ったミカンを取り除くためにお金による寄付は難しいと。渋沢栄一は80才を過ぎてから毎日200人からの人間に会うけれども、ほとんどの人は寄付、お金を貸してくれという話がほとんどだったらしいのですが、絶対に応じなかったそうです。

以前に前沢さんが宇宙に行きましたが、何千億を持っている人ですが、お金の使い方を知らない。能力のない人がお金を持っているので、社会で金が動きません。あの人達を壊さない。大谷が昨年ホームランダービーで優勝して4千万円もらったけれども、自分は使わないので事務局の人達にあげたそうです。大谷はお金の使い方が分かっています。そういう人がお金持たないとダメです。

寄付する時に考えないと、その人をダメにする。それを考えないとというのが論語と算盤です。

今年度複雑な地区ですが、協力して強い地区にしていきたいと思えます。



ニコニコボックス

♪金井ガバナー補佐より

合計 1,000 円

出席率 44, 4%